

# できる・できる・できる

申 校訓：「自主・友愛・飛躍」

令和5年10月2日  
No. 34 (第162号)  
長崎市立戸町中学校

文責 校長 大橋 功

<https://www.nagasaki-city.ed.jp/tomachi-j/>

## 心ふるえた感動の歌声！

29日(金)に、テーマ「響け～思い出あふれる最高のハーモニー～」のもと、合唱コンクールを盛大に開催しました。今回は、感染防止対策に伴う特別な制限のない中での開催です。保護者のみなさま、地域のみなさま、そして、卒業生等、約180名超の方々にお越しいただき、生徒たちの合唱をご堪能していただきました。



まずは、各学年の金賞と指揮者をお知らせします。

金賞	1年2組	2年1組	3年3組
指揮者賞	1年1組	山内 陽向くん	

### 【1年生】初の合唱コン緊張を吹き飛ばす笑顔！

課題曲「Yes!」を合唱する表情は、どの学級も緊張した面持ちでした。しかし、歌声からは元気に歌うという気持ち伝わりました。自由曲になるとようやく硬さのとれてきたようで、1年生の特色を生かし、各学級の曲に合わせた個性があり、明るさと楽しそうな雰囲気を感じました。(〇)

### 【2年生】丁寧に歌う姿勢と迫力ある歌声！

課題曲「大切なもの」を合唱する表情は、真剣そのもので、指揮を見つめる瞳が輝いて見えました。曲調に合わせた全員の息づかい。特に、ソプラノの息の合った歌声にはレベルとの高さを感じました。自由曲では、硬さも取れ元気はつらつととても楽しい雰囲気でした。2クラスとも一人一人の気持ちがしっかりとこもっていました。(〇)

### 【3年生】思い伝わる歌声で聞き手を魅了！

課題曲「大地讃頌」を合唱する表情と指揮者を見つめる穏やかでありつつ、「よーし」という意気込みが伝わりました。どの学級も聞こえてくる歌声から、「大地讃頌」の風景が見えてくるような感じさえありました。そして、自由曲では、3組「明日への手紙」、2組「群青」、1組「君の隣にいたいから」と、いずれも、課題曲以上に指揮者を見つめ、伴奏に心を寄せ、仲間たちを信じて熱唱する姿と、聞こえてくる歌声が心に染みわたり“感動”せずにはいられませんでした。さすがです。(〇)v

## 圧巻！余韻の残る3年生全員合唱

今年度も合唱コンクール終了後、3年生の実行委員から「3年生前に集合！」と声がかかり、3年生全員が集結。恒例になりました、3年生全員合唱「大地讃頌」です。



保護者や地域のみなさまも“待ってました！”と言わんばかりに、手にスマホやビデオカメラを準備万端。



中学校生活最後の学校行事となる合唱コンクールの最後を飾ります。学級の枠を越え、各パートの美しい歌声が大きなハーモニーとなり歌い上げました。

3年生の堂々とした歌声に、1・2年生はもとより、体育館にいる全ての人々が微動だにせず耳を傾けて聞き入り、心の中に感動の波が押し寄せ、しばらくはその余韻に浸っていました。振り返ると保護者の方の中には、目頭を赤くし手にするハンカチで涙をぬぐう様子がありました。

その3年生の雄姿からは、後輩達に「頼んだぞ」というメッセージのようにも聞こえてきました。

## 心の種

今回のテーマは「本気の歌声、できた・できた・できた」です。

生徒たちによる真心のこもった歌声。我々の心は生徒たちの本気の姿に心を動かされ、生徒たちの凄さに感銘を受けました。合唱とは、一人一人の力が積み重なってハーモニーとなり、聴く人たちの心を揺り動かす大きな力だと思います。決して一人ではない。いろいろな困難も仲間と一緒に克服できる。ゆえに、一人一人の力が団結力となり、絆となっていくことを学ぶよい機会となりました。



また、実行委員のみなさんをはじめ、美学部のみなさんによる掲示物等の作製と飾り付け。さらには、全校生徒共同制作の級友に寄せたメッセージ。

それら全てを含めて本当に素晴らしい合唱コンクールでした。生徒のみなさん感動をありがとう！

# 感動の合唱コンクールを写真で振り返ろう

